

宮 崎 市 政 モ ニ タ ー

平成 2 9 年度第 1 回アンケート集計結果

(平成 2 9 年 7 月実施分)

第 1 回アンケート

① 宮崎市政モニターアンケート 調査概要	・・・1
② 食育と地産地消に関するアンケート調査（農政企画課）	・・・2
③ 宮崎市の行財政改革に関するアンケート調査（人事課行政改革推進室）	・・・15
④ 地域福祉計画に関するアンケート調査（福祉総務課）	・・・21
⑤ 地域コミュニティに関する市民意識調査（地域コミュニティ課）	・・・29

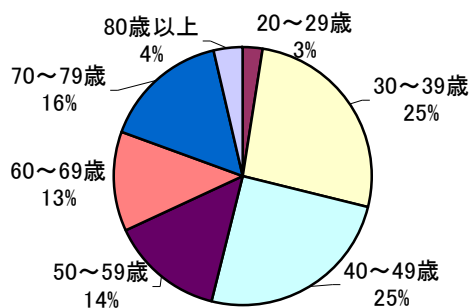
宮崎市秘書課広報広聴室

第1回 宮崎市政モニターアンケート 調査概要

(1)調査担当課	① 農政企画課 ② 人事課 行政改革推進室 ③ 福祉総務課 ④ 地域コミュニティ課
(2)調査内容	① 宮崎市食育・地産地消推進計画の策定について ② 行財政改革に関する市民の認識、意向調査 ③ 宮崎市地域福祉計画に関する市民意識調査 ④ 地域コミュニティについて
(3)調査期間	平成29年6月30日 ～ 平成29年7月14日 ※終了後も一定期間回収
(4)送付数	208人 (郵送モニター 152人、e-モニター 56人)
(5)回答率(回答人数)	76.9% (160人) (郵送モニター 134人、e-モニター 26人)

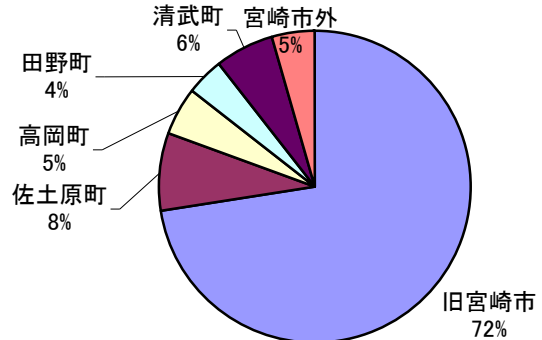
モニターの属性

年齢別（性別）



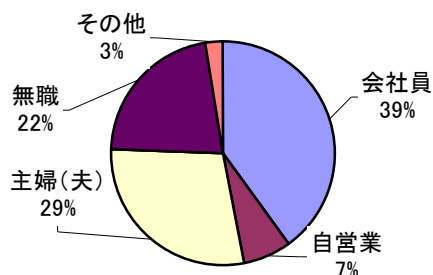
年齢別	男	女	合計
18～19歳	0	0	0
20～29歳	1	3	4
30～39歳	7	35	42
40～49歳	11	29	40
50～59歳	7	16	23
60～69歳	9	11	20
70～79歳	17	8	25
80歳以上	5	1	6
合計	57	103	160

地域別



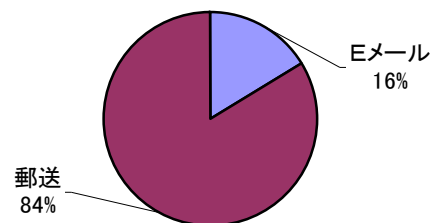
旧宮崎市	116	田野町	6
佐土原町	13	清武町	10
高岡町	8	宮崎市外	7
合計	160		

職業別



会社員	64	学生	0
自営業	11	無職	35
主婦(夫)	46	その他	4
合計	160		

モニター種別（回答方法）



Eメール	26	郵送	134
合計	160		

※数値(%)は、小数点以下を四捨五入しているため、内訳の構成比の合計が100%にならない場合がある。

「食育と地産地消」に関するアンケート調査 集計結果

◆調査の目的

本市では、平成25年3月に「食育基本法」等に基づき、「宮崎市食育・地産地消推進計画」を策定し食育・地産地消を推進してきた。本年度が計画期間の最終年度となっており、平成30年度から平成34年度までの5年間を計画期間とする新たな推進計画を本年度末までに策定することとしている。市民の「食と地産地消」についての調査を実施し、この計画に反映させる。

◆調査の概要

- (1) 調査期間 平成29年6月30日～平成29年7月14日 ※終了後も一定期間回収
- (2) モニター数 208人（郵送モニター152人、e-モニター56人）
- (3) 回答数 159人（郵送モニター134人、e-モニター25人） ※回答率76.4%
- (4) 担当課 農政部 農政企画課

◆調査結果概要

- 【問1】 「食育」という言葉は、「言葉も意味も知っていた(82.8%)」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった(13.4%)」、「言葉も意味も知らなかった(3.8%)」であった。
- 【問2】 「食育」について、「関心がある(64.2%)」、「どちらかといえば関心がある(30.2%)」、「どちらかといえば関心がない(5.0%)」、「関心がない(0.6%)」の順となった。
- 【問3】 健全な食生活を送るため、「食育」を実践しているかの問には、「できるだけするようにしている(50.3%)」とほぼ半数で「積極的にしている(18.9%)」、「したいと思っているが、あまりしていない(18.2%)」、「したいと思っているが、実際にはしていない(10.7%)」であった。
- 【問3-1】 「食育」を実践していない理由としては、「関心はあるが他のことで忙しいから(44.9%)」、「関心はあるが食費を安くすることの方が重要だから(32.7%)」、「特に意識しなくても問題ないから(6.1%)」、「関心がない」「食育自体よく知らないから」「情報が入手できないから」は各(4.1%)であった。
- 【問4】 朝食を食べているかの問には、「毎日食べる(85.7%)」、「週に5～6日食べる(7.8%)」、「ほとんど食べない(3.2%)」、「週に3～4日食べる(2.6%)」、「週に1～2日食べる(0.6%)」の順となった。
- 【問5】 朝食を食べない理由は、「時間がない(39.1%)」、「食欲がわかない(17.4%)」、「以前から食べる習慣がない(13.0%)」、「準備することが面倒(8.7%)」でその他として、「休みの日は朝昼一緒や」や「体調を考慮して1日2食と決めている」などの回答があった。
- 【問6】 食事の際の習慣は、「配ぜんや後片付けをする(10.4%)」、「いただきます・ごちそうさまを言う(9.8%)」、「茶わんやおわんを持って食べる(9.7%)」、「食べ残し廃棄を減らす努力をしている(9.0%)」、「肘をついたり、音をたてて食べない(8.7%)」などとなった。
- 【問7】 同居人と食事は、「毎日食べる(73.3%)」、「週に5～6日食べる(10.3%)」、「週に3～4日食べる(6.8%)」、「週に1～2日食べる(6.8%)」、「一緒に食べない(2.7%)」となった。
- 【問8】 外食・中食は、「毎日食べる(1.3%)」、「週に5～6日食べる(2.0%)」、「週に3～4日食べる(5.4%)」、「週に1～2日食べる(41.6%)」、「ほとんど食べない(49.7%)」となった。
- 【問9】 主食・主菜・副菜の3つがそろった食事を1日に2回以上食べる日は、「毎日食べる(49.0%)」、「週に5～6日食べる(22.9%)」、「週に3～4日食べる(19.1%)」、「週に1～2日食べる(5.1%)」、「ほとんどない(3.8%)」となった。
- 【問10】 「メタボリックシンドローム」という言葉は、「言葉も意味も知っていた(93.7%)」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった(5.7%)」、「言葉も意味も知らなかった(0.6%)」であった。
- 【問11】 生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防や改善のための食事を実践は、「いつも気をつけて実践している(40.4%)」、「たまに気をつけて実践している(41.7%)」、「あまり気をつけて実践していない(13.5%)」、「全く気をつけて実践していない(0.6%)」、「今はしていないが、近いうちにしようと思っている(2.6%)」、「今もしていないし、しようと思わない(1.3%)」となった。
- 【問12】 健康のために気をつけていることは、「バランスのとれた食事(13.2%)」、「規則正しい食事(11.9%)」、「睡眠を十分にとる(11.1%)」、「タバコを吸わない(10.5%)」、「食べ過ぎない」「便通を整える」「定期的に健康診断などを受ける」が約9%で、その他に「水分を十分にとる」などの回答があった。
- 【問13】 「地産地消」という言葉は、「言葉も意味も知っていた(98.7%)」、「言葉は知っていたが意味は知らなかった(1.3%)」、「言葉も意味も知らなかった(0%)」であった。
- 【問14】 国産品と輸入品の食料品が並んでいたら、どちらを購入するかは、「国産品(71.7%)」、「どちらかというと国産品(23.9%)」、「輸入品(0%)」、「どちらかというと輸入品(0.6%)」、「特にこだわらない(3.8%)」となった。
- 【問15】 宮崎市産や宮崎県産の地場産物は、「同じくらいの価格であれば購入したい(60.4%)」が最も多く、次いで「多少割高でも購入したい(34.6%)」、「少しでも高ければ購入しない」「産地のことは気にしない」が2.5%であった。
- 【問16】 地場産物の購入場所は、「スーパー・小売店(53.8%)」、「直売所や道の駅など(42.1%)」、「デパート・百貨店など(1.2%)」となった。
- 【問17】 地場産物のよい点は、「新鮮(47.2%)」、「安全・安心(33.2%)」、「おいしい(7.5%)」、「価格が安い・量が多い(6.5%)」、「わからないがイメージがよい(2.5%)」「環境にやさしい(1.5%)」「栄養価が高い(0.5%)」で、その他では「配送費が少ないのでエコ」との回答があった。
- 【問18】 「宮崎の郷土料理(18品目中)」は、1位「冷や汁(27.6%)」、2位「チキン南蛮(26.9%)」、3位「鶏の炭火焼(13.2%)」、4位「レタス巻き(11.1%)」、5位「ねりくり(5.4%)」の順となった。
- 【問19】 市内での販売量を増やすべき農林水産物(59品目中)は、1位「牛肉(宮崎牛など)(9.9%)」、2位「マンゴー(6.8%)」、3位「スイートコーン」「早期水稻」「日向夏(4.0%)」の順となった。
- 【問20】 「MVP350」のポスターを見たことがあるかは、「見たことがない(78.3%)」、「見たことがある(21.7%)」となった。
- 【問21】 1日当たり350gの野菜摂取の推奨のことは、「知っていた(66.9%)」、「知らなかった(33.1%)」となった。
- 【問22】 1日当たり350gの野菜摂取の推奨を知ってから、日ごろの食生活は改善されたかは、「知る前よりは野菜を食べるようになった(56.3%)」が最も多く、次いで「知っているが何も変えていない(29.1%)」、「知る前から350g以上食べていた(10.7%)」で、その他に「気をつけてはいるが350gは取れない」、「野菜ジュースを飲む」などの回答があった。
- 【問23】 1日平均およそ何gの野菜を摂取しているかについては、「2皿(140g)(31.3%)」が最も多く、次いで「3皿(210g)(22.7%)」、「1皿(70g)(14.0%)」の順で「5皿(350g)・6皿・7皿以上」と答えたのは、全体の17.3%であった。

- 【問24】 野菜(350g)を摂取できない理由については、「料理をするのが苦手(19.4%)」、「野菜を積極的にとる意識をしていない(19.4%)」、「忙しく、料理を作る時間がない(16.9%)」、「野菜が苦手(8.1%)」、「外食やコンビニ、ファストフードを利用することが多い(7.3%)」、「食事を抜くことがある(4.0%)」となった。「その他」の理由としては、「野菜の価格が高い」や「野菜料理のレパートリーが少ない」、「元々、少食」などの回答があった。
- 【問25】 農林漁業の体験があるかは、「体験したことがある(55.1%)」、「体験したことがない(44.9%)」となった。
- 【問26】 体験した農林漁業は、「イモ掘りや野菜・果物の収穫(19.6%)」が最も多く、次いで「田植えや稲刈りなどの米作り(17.3%)」、「自宅や市民農園などでの野菜等の栽培(16.1%)」、「魚釣りや潮干狩りなどの漁業(12.0%)」、「種まきや苗の植付けなどの農作業(11.7%)」となった。
- 【問27】 宮崎市の食や食育・地産地消について行政(宮崎市)に期待することは、「親子料理教室を増やしてほしい」「価格が高いため、規格外の物を安くで販売してほしい」、「価格調整で出来すぎた物を廃棄せず安価で販売してほしい」、「楠並木朝市のような市を頻繁に行ってほしい」、「宮崎は他県に比べておいしい野菜や果物が安く手に入ると思うので、子供たちが積極的に野菜を採るためにも、給食などで地産地消を促進してほしい」、「SNSやTV、ラジオ、書籍等で、おいしい食材を使った栄養素や効用なども載ったレシピを発信してみても?」、「宮崎の野菜は『安心して食べられる』『おいしい』というイメージ作りをお願いします」、「スーパーや地域の生鮮食料品販売店などに協力してもらい『食育・地産地消ポイント』カードのようなものを導入してもらったらどうか」、「安心・安全な宮崎の食をよろしくお願いします」、「行政に何も期待できない」などの意見・要望があった。

◆調査結果まとめ

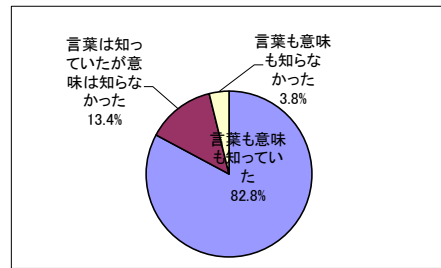
市民の食育への関心は高いが、1日の野菜の摂取量は厚生労働省が指標としている350gよりも低い市民が多く、生活の中での実践はあまりできていないようであった。
また、地産地消については、認知度が非常に高く、実践したいと思っている市民が多かった。

◎調査結果

1. 食品について、お伺いします

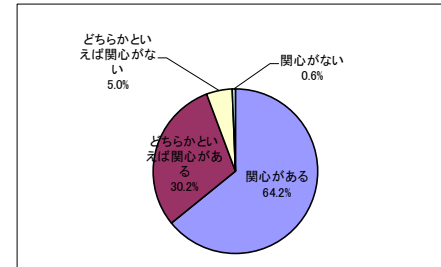
問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味をご存知でしたか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
言葉も意味も知っていた	130	82.8%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	21	13.4%
言葉も意味も知らなかった	6	3.8%
計	157	100.0%
無回答	2	-



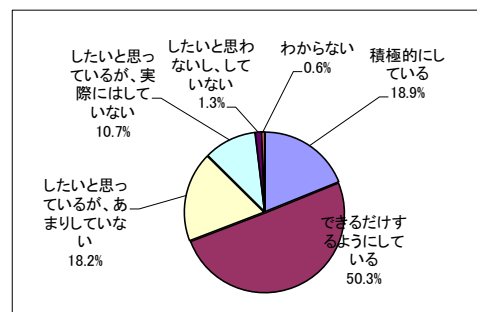
問2 あなたは、「食育」に関心がありますか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
関心がある	102	64.2%
どちらかといえば関心がある	48	30.2%
どちらかといえば関心がない	8	5.0%
関心がない	1	0.6%
計	159	100.0%
無回答	0	-



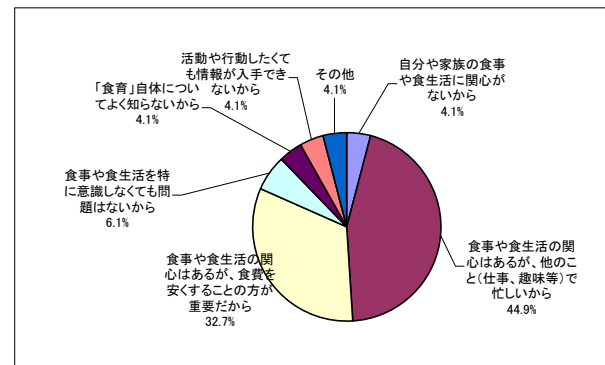
問3 あなたは、日頃から健全な食生活を送るため、「食育」を何らかの形で実践していますか？あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
積極的にしている	30	18.9%
できるだけするようにしている	80	50.3%
したいと思っているが、あまりしていない	29	18.2%
したいと思っているが、実際にはしていない	17	10.7%
したいと思わないし、していない	2	1.3%
わからない	1	0.6%
計	159	100.0%
無回答	0	-



問3-1 あなたが食育を実践していない理由はなんですか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
自分や家族の食事や食生活に関心がないから	2	4.1%
食事や食生活の関心はあるが、他のこと(仕事、趣味等)で忙しいから	22	44.9%
食事や食生活の関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	16	32.7%
食事や食生活を特に意識しなくても問題はないから	3	6.1%
「食育」自体についてよく知らないから	2	4.1%
活動や行動したくても情報が入手できないから	2	4.1%
その他	2	4.1%
計	49	100.0%
無回答	111	-



※複数回答する人がいたため、回答数が回答者数を越えている

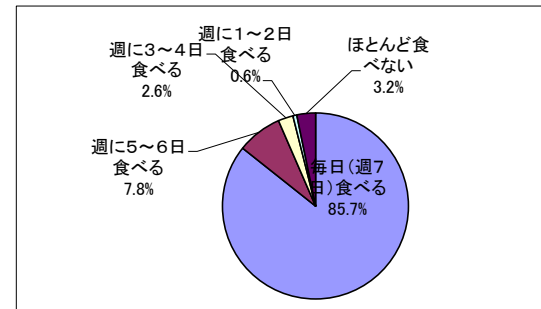
(その他)

- ・好きなものを好きな時に食したいから
- ・病気の母の食事を作ったりでなかなか思うようにならない

2. 食生活等の状況について、お伺いします

問4 あなたは、朝食を食べていますか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
毎日(週7日)食べる	132	85.7%
週に5~6日食べる	12	7.8%
週に3~4日食べる	4	2.6%
週に1~2日食べる	1	0.6%
ほとんど食べない	5	3.2%
計	154	100.0%
無回答	5	-



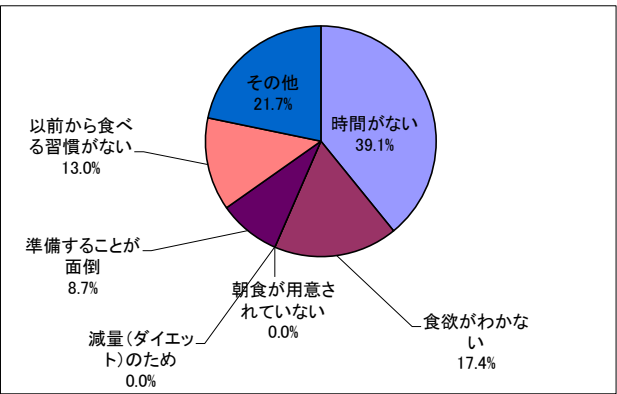
問5 毎日朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。あてはまるものを12選んでください。(問4で2～5を選択した方)

選択肢	回答数	割合
時間がない	9	39.1%
食欲がわかない	4	17.4%
減量(ダイエット)のため	0	0.0%
朝食が用意されていない	0	0.0%
準備することが面倒	2	8.7%
以前から食べる習慣がない	3	13.0%
その他	5	21.7%
計	23	100.0%
無回答	137	-

※複数回答する人がいたため、回答数が回答者数を越えている

(その他)

- ・仕事が朝3時出勤と夕方4時出勤の為
- ・1日2食の方が胃腸に負担なく自分の体調に合っているから。(自分の健康を
考えるがゆえにやっている。)年に数回断食等も行い、体をリセットしている。
- ・日曜だけ食べない。朝寝がしたいから。
- ・土、日は朝昼兼用
- ・夜寝るのが遅く、朝起きるのが遅くなり、昼食までの時間が短い為。

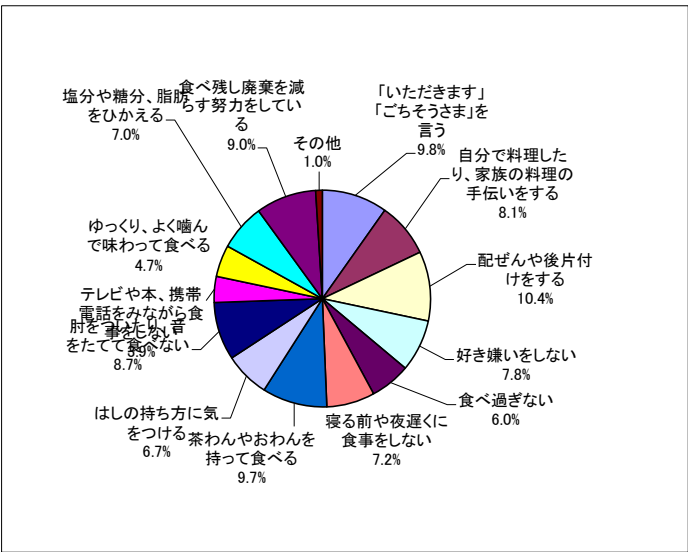


問6 あなたは、食事の際に、習慣にしていることがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	割合
「いただきます」「ごちそうさま」を言う	121	9.8%
自分で料理したり、家族の料理の手伝いをする	100	8.1%
配ぜんや後片付けをする	128	10.4%
好き嫌いをしない	96	7.8%
食べ過ぎない	74	6.0%
寝る前や夜遅くに食事をしない	89	7.2%
茶わんやおわんを持って食べる	119	9.7%
はしの持ち方に気をつける	83	6.7%
肘をついたり、音をたてて食べない	107	8.7%
テレビや本、携帯電話をみながら食事をしない	48	3.9%
ゆっくり、よく噛んで味わって食べる	58	4.7%
塩分や糖分、脂肪をひかえる	86	7.0%
食べ残り廃棄を減らす努力をしている	111	9.0%
その他	12	1.0%
計	1232	100.0%
無回答	3	-

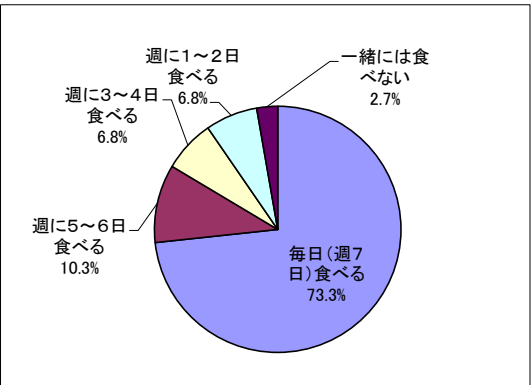
(その他)

- ・家族で会話ををする。一緒に食べる。
- ・楽しく
- ・妻が介護認定3のため食事についても大変です
- ・前菜をとるようにしている
- ・野菜、油、塩、砂糖等の質にもこだわっている。有機(植物堆肥)やオメガ3を
含んでいる油、天然塩、糖をおだやかにあげるメープルシュガー、てんさい糖な
どを使っている。
- ・必ず、お茶といっしょにいただく
- ・子供にはバランスよく外食した時は、さいごにジュース。
- ・旬の食材、県産の食材を選ぶ
- ・糖分はカロリー0のもの、塩分は岩塩などをつかう
- ・食事(おかず等)の偏りに気をつける



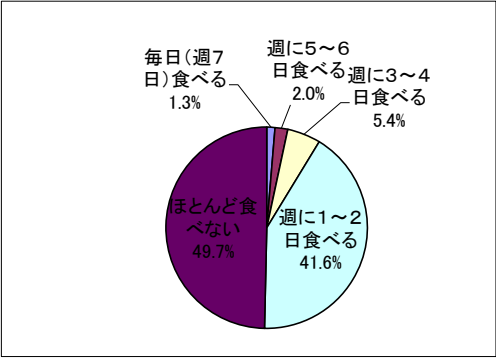
問7 あなたは、同居されてる方と朝食又は夕食を、どの程度一緒に食べていますか。あてはまるものを12選んでください。(家族と同居の方)

選択肢	回答数	割合
毎日(週7日)食べる	107	73.3%
週に5～6日食べる	15	10.3%
週に3～4日食べる	10	6.8%
週に1～2日食べる	10	6.8%
一緒に食べない	4	2.7%
計	146	100.0%
無回答	13	-



問8 あなたは、**外食**(食堂などを利用して家庭外で食事すること)や**中食**(総菜やコンビニ弁当などの調理済み食品を自宅などで食べることを)をどの程度利用しますか。もっともあてはまるものを**1つずつ**選んでください。

選択肢	回答数	割合
毎日(週7日)食べる	2	1.3%
週に5～6日食べる	3	2.0%
週に3～4日食べる	8	5.4%
週に1～2日食べる	62	41.6%
ほとんど食べない	74	49.7%
計	149	100.0%
無回答	10	-



(参考)前回調査(昨年)【外食】

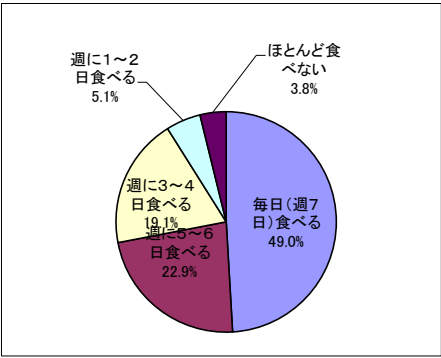
選択肢	回答数	割合
ほとんど毎日(週に6～7日)	2	1.1%
週に3～5日	7	3.8%
週に1～2日	71	38.4%
ほとんど利用しない	105	56.8%
計	185	100.0%
無回答	2	-

(参考)前回調査(昨年)【中食】

選択肢	回答数	割合
ほとんど毎日(週に6～7日)	1	0.5%
週に3～5日	17	9.2%
週に1～2日	83	45.1%
ほとんど利用しない	83	45.1%
計	184	100.0%
無回答	3	-

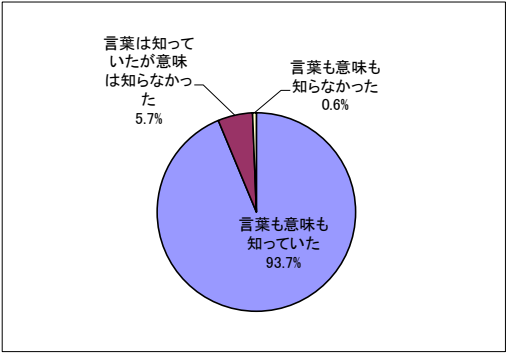
問9 あなたは、**主食・主菜・副菜**の3つがそろった食事を、1日に2回以上食べる日が週に何日ありますか。あてはまるものを**1つ**選んでください。

選択肢	回答数	割合
毎日(週7日)食べる	77	49.0%
週に5～6日食べる	36	22.9%
週に3～4日食べる	30	19.1%
週に1～2日食べる	8	5.1%
ほとんど食べない	6	3.8%
計	157	100.0%
無回答	2	-



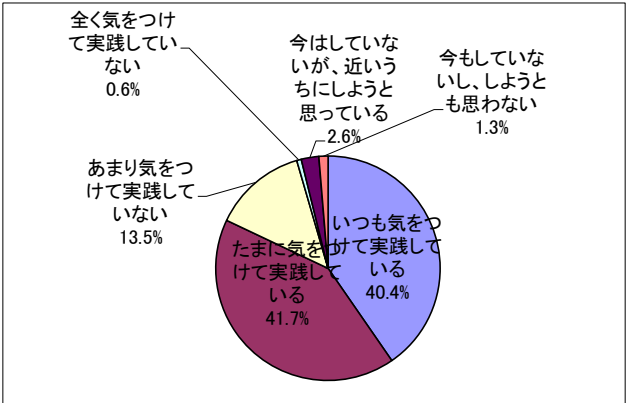
問10 あなたは、「**メタボリックシンドローム**(内臓脂肪症候群)」という言葉やその意味をご存知でしたか。あてはまるものを**1つ**選んでください。

選択肢	回答数	割合
言葉も意味も知っていた	149	93.7%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	9	5.7%
言葉も意味も知らなかった	1	0.6%
計	159	100.0%
無回答	0	-



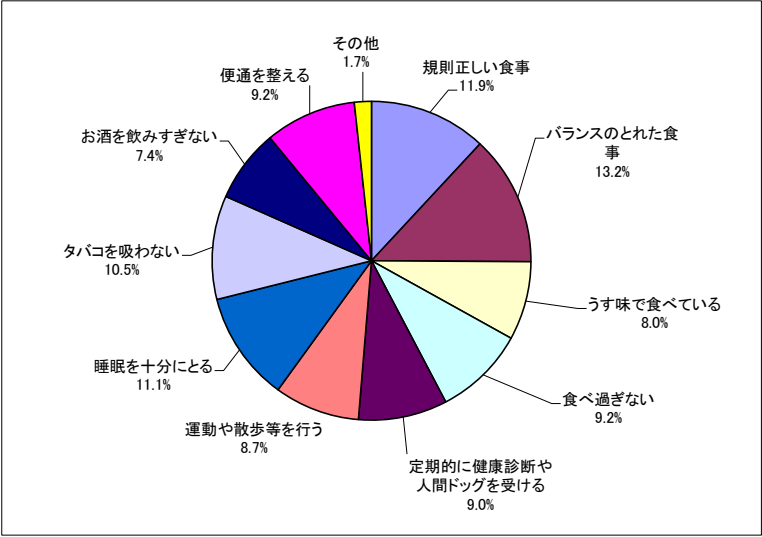
問11 あなたは、**糖尿病**などの生活習慣病や**内臓脂肪症候群**(メタボリックシンドローム)の予防や改善のために、普段から**減塩**、**油**ものを控える**野菜**の摂取などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを**1つ**選んでください。

選択肢	回答数	割合
いつも気をつけて実践している	63	40.4%
たまに気をつけて実践している	65	41.7%
あまり気をつけて実践していない	21	13.5%
全く気をつけて実践していない	1	0.6%
今はしていないが、近いうちにしようと思っている	4	2.6%
今もしていないし、しようとも思わない	2	1.3%
計	156	100.0%
無回答	3	-



問12 あなたが、健康のために気をつけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	割合
規則正しい食事	103	11.9%
バランスのとれた食事	114	13.2%
うす味で食べている	69	8.0%
食べ過ぎない	80	9.2%
定期的に健康診断や人間ドッグを受ける	78	9.0%
運動や散歩等を行う	75	8.7%
睡眠を十分にとる	96	11.1%
タバコを吸わない	91	10.5%
お酒を飲みすぎない	64	7.4%
便通を整える	80	9.2%
その他	15	1.7%
計	865	100.0%
無回答	3	-

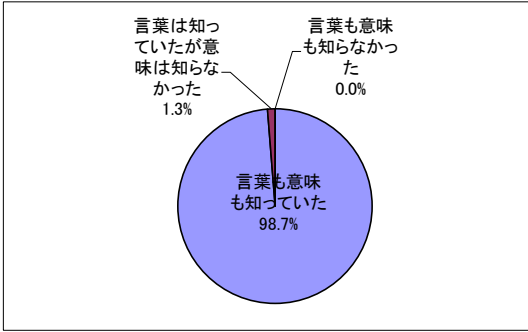


- (その他)
- ・野菜を出来るだけとる
 - ・中国の商品や外国の肉等は購入しない
 - ・間食をしない
 - ・安さではなく質にこだわった食材の購入。ほとんど手作り(パンも天然酵母で焼く)
 - ・乳製品をよくとるーお腹の為に
 - ・炭水化物や糖分の制限をしている。
 - ・医師の指示にしたがう
 - ・添加物の比較的少ない食品を食べる様に心がけています
 - ・楽しく食べる
 - ・十分に水分をとる
 - ・楽しい会話をしながら食事をする
 - ・よくかんで食べる。国産のものを食べる
 - ・便通を整えるのにむずかしい
 - ・処方された薬は薬効、副作用情報を本で調べ、不要なものは飲まない

3. 地産地消について、お伺いします

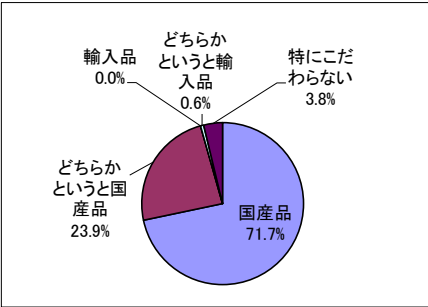
問13 あなたは、「地産地消」という言葉やその意味をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
言葉も意味も知っていた	157	98.7%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	2	1.3%
言葉も意味も知らなかった	0	0.0%
計	159	100.0%
無回答	0	-



問14 あなたが、食料品を買う際に、国産品と輸入品が並んでいる場合、どちらを選択しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 国産品	114	71.7%
2 どちらかというと国産品	38	23.9%
3 輸入品	0	0.0%
4 どちらかというと輸入品	1	0.6%
5 特にこだわらない	6	3.8%
計	159	100.0%
無回答	0	-

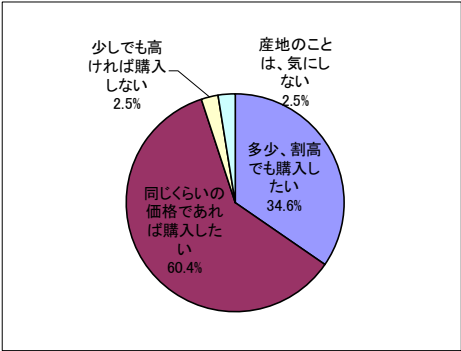


(参考) 前回調査(6年前)

選択肢	回答数	割合
国産品	83	55.7%
どちらかというと国産品	55	36.9%
輸入品	0	0.0%
どちらかというと輸入品	0	0.0%
特にこだわらない	11	7.4%
計	149	100.0%
無回答	1	-

問15 あなたは、宮崎市産や宮崎県産の農林水産物(地場産物)とわかる食品であれば、購入したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
多少、割高でも購入したい	55	34.6%
同じくらいの価格であれば購入したい	96	60.4%
少しでも高ければ購入しない	4	2.5%
産地のことは、気にしない	4	2.5%
計	159	100.0%
無回答	0	-

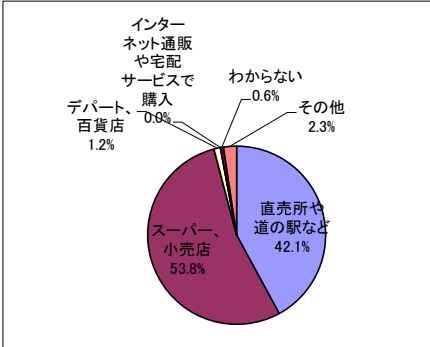


問16 あなたは、「地場産物」をどこで買いますか。もっともよく買うところを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
直売所や道の駅など	72	42.1%
スーパー、小売店	92	53.8%
デパート、百貨店	2	1.2%
インターネット通販や宅配サービスで購入	0	0.0%
わからない	1	0.6%
その他	4	2.3%
計	171	100.0%
無回答	0	-

※複数回答する人がいたため、回答数が回答者数を越えている

- (その他)
- ・生協coop共同購入
 - ・直販店
 - ・百姓市
 - ・買わない



(参考) 前回調査(昨年)

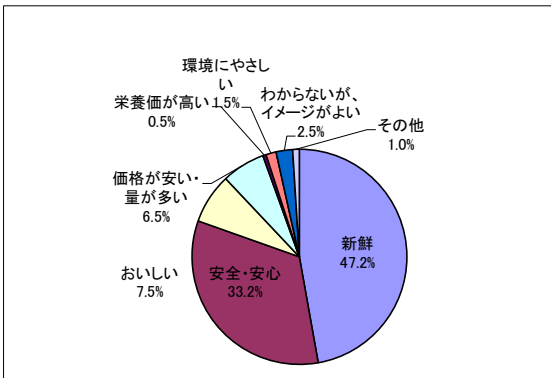
選択肢	回答数	割合
百貨店やスーパーマーケット	152	80.0%
直売所や道の駅など	25	13.2%
野菜を専門に取扱う小売店	8	4.2%
インターネット通販や宅配サービスで購入	3	1.6%
コンビニエンスストア	1	0.5%
その他	1	0.5%
計	190	100.0%
無回答	1	-

問17 あなたは、「地場産物」のよい点は、どのようなところにあると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
新鮮	94	47.2%
安全・安心	66	33.2%
おいしい	15	7.5%
価格が安い・量が多い	13	6.5%
栄養価が高い	1	0.5%
環境にやさしい	3	1.5%
わからないが、イメージがよい	5	2.5%
その他	2	1.0%
計	199	100.0%
無回答	1	-

※複数回答する人がいたため、回答数が回答者数を越えている

- (その他)
- ・配送費が安い→エコ
 - ・地域経済



問18 あなたが考える「宮崎の郷土料理」は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

順位	選択肢	回答数	割合
1	冷やし汁	132	27.6%
2	チキン南蛮	129	26.9%
3	鶏の炭火焼	63	13.2%
4	レタス巻き	53	11.1%
5	ねりくり(ねったくり)	26	5.4%
6	あく巻き	24	5.0%
7	煮しめ	12	2.5%
8	かしわ飯(にわとりめし)	9	1.9%
9	白あえ	7	1.5%
10	だご汁	7	1.5%
11	カツオ飯	4	0.8%
11	鶏のうま煮	4	0.8%
11	ぬた芋(のたいも)	4	0.8%
14	ばらずし	2	0.4%
14	郷土料理を知らない	2	0.4%
16	ぼたもち	1	0.2%
	イカの汁かけ飯	0	0.0%
	だご揚げ	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	計	479	100.0%
	無回答	0	-

問19 宮崎市では、次のような多種多様な農林水産物が生産・水揚げされています。しかしながら、その多くが県外の大消費地向けに出荷されているという状況もあります。あてはまるものを5つまで選んでください。

順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合
1	牛肉(宮崎牛など)	76	9.9%	29	牛乳	8	1.0%
2	マンゴー	52	6.8%	29	たまご(鶏卵)	8	1.0%
3	スイートコーン	31	4.0%	29	はも	8	1.0%
3	早期水稲	31	4.0%	29	貝類(あわび・とこぶし・かきなど)	8	1.0%
3	日向夏	31	4.0%	35	ばれいしょ(じゃがいも)	7	0.9%
6	鶏肉(地頭鶏など)	30	3.9%	35	さといも	7	0.9%
7	豚肉(みやざきブランドポークなど)	29	3.8%	35	しょうが	7	0.9%
8	大根・干し大根・せんぎり大根	27	3.5%	35	たい類(まだい・ちだいなど)	7	0.9%
9	うなぎ	25	3.3%	39	不知火(デコボン)	6	0.8%
10	かんしょ(さつまいも)	24	3.1%	39	洋ラン(コチョウランなど)	6	0.8%
10	トマト・ミニトマト	24	3.1%	41	にがうり(ゴーヤー)	4	0.5%
10	いせえび	24	3.1%	41	その他エビ類(甘えびなど)	4	0.5%
10	しいたけ(生椎茸・干し椎茸)	24	3.1%	43	高岡文旦	3	0.4%
14	なす(佐土原ナスなど)	23	3.0%	43	バラ	3	0.4%
15	茶	19	2.5%	45	大葉(しそ)	2	0.3%
16	きゅうり	18	2.3%	45	ユリ	2	0.3%
16	かつお	18	2.3%	45	えのきだけ	2	0.3%
18	メロン	16	2.1%	45	さば類	2	0.3%
19	ピーマン	14	1.8%	45	さわら	2	0.3%
19	かぼちゃ(黒皮かぼちゃなど)	14	1.8%	45	ふぐ類(とらふぐなど)	2	0.3%
19	きんかん	14	1.8%	45	たちうお	2	0.3%
19	パパイア	14	1.8%	45	しいら	2	0.3%
23	いちご	13	1.7%	45	かます	2	0.3%
23	まぐろ類	13	1.7%	54	にんじん	1	0.1%
25	すいか	11	1.4%	54	デルフィニウム	1	0.1%
26	しらす(ちりめんじゃこ)	10	1.3%	54	トルコギキョウ	1	0.1%
26	いわし類・あじ類	10	1.3%	54	たけのこ	1	0.1%
28	キャベツ	9	1.2%		らっきょう	0	0.0%
29	ブロッコリー	8	1.0%		キク	0	0.0%
29	温州みかん	8	1.0%		計	768	100.0%
					無回答	0	-

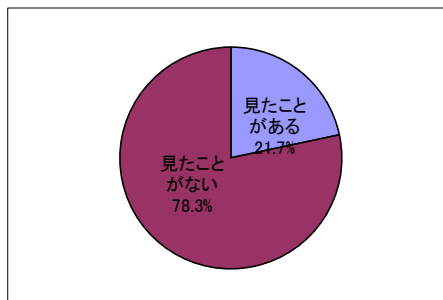
(参考) 前回調査(昨年)

順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合
1	牛肉(宮崎牛など)	100	10.9%	31	メロン	3	0.3%
2	日向夏	96	10.5%	31	温州みかん	3	0.3%
3	マンゴー	91	10.0%	31	不知火(デコボン)	3	0.3%
4	ピーマン	73	8.0%	31	はも	3	0.3%
5	鶏肉(みやざき地頭鶏など)	57	6.2%	35	キャベツ	2	0.2%
6	きゅうり	44	4.8%	35	トルコギキョウ	2	0.2%
6	大根・干し大根・せんぎり大根	44	4.8%	35	しいら	2	0.2%
8	豚肉(みやざきブランドポークなど)	36	3.9%	38	ばれいしょ(じゃがいも)	1	0.1%
9	早期水稲	35	3.8%	38	大葉(しそ)	1	0.1%
10	なす(佐土原ナスなど)	34	3.7%	38	パパイア	1	0.1%
10	きんかん	34	3.7%	38	バラ	1	0.1%
11	かんしょ(さつまいも)	32	3.5%	38	たけのこ	1	0.1%
13	スイートコーン	27	3.0%	38	えのきだけ	1	0.1%
14	トマト・ミニトマト	24	2.6%	38	まぐろ類	1	0.1%
14	しいたけ(生椎茸・干し椎茸)	24	2.6%	38	たい類(まだい・ちだいなど)	1	0.1%
16	かぼちゃ(黒皮かぼちゃなど)	21	2.3%	38	さば類	1	0.1%
17	うなぎ	16	1.8%	－	すいか	0	0.0%
18	かつお	14	1.5%	－	ブロッコリー	0	0.0%
19	しらす(ちりめんじゃこ)	11	1.2%	－	らっきょう	0	0.0%
19	いせえび	11	1.2%	－	にんじん	0	0.0%
21	高岡文旦	9	1.0%	－	キク	0	0.0%
22	茶	8	0.9%	－	ユリ	0	0.0%
23	いちご	7	0.8%	－	デルフィニウム	0	0.0%
23	洋ラン(コチョウランなど)	7	0.8%	－	葉たばこ	0	0.0%
23	にがうり(ゴーヤー)	7	0.8%	－	さわら	0	0.0%
25	たまご(鶏卵)	6	0.7%	－	ふぐ類(とらふぐなど)	0	0.0%
25	さといも	6	0.7%	－	たちうお	0	0.0%
27	いわし類・あじ類	5	0.5%	－	かます	0	0.0%
29	しょうが	4	0.4%	－	その他えび類(甘えびなど)	0	0.0%
29	牛乳	4	0.4%	－	貝類(あわび・とこぶし・かきなど)	0	0.0%
					計	914	100.0%
					無回答	2	-

4. 野菜摂取について、お伺いします

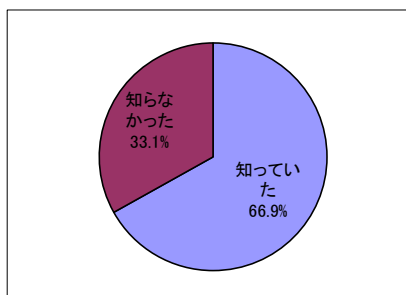
問20 あなたは、最後のページにある「MVP350」のポスターを見たことがありますか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
見たことがある	34	21.7%
見たことがない	123	78.3%
計	157	100.0%
無回答	2	-



問21 あなたは、「健康の維持・増進のために1日当たり350g以上の野菜を食べることが推奨されていること」を知っていましたか。ますか。あてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
知っていた	105	66.9%
知らなかった	52	33.1%
計	157	100.0%
無回答	2	-

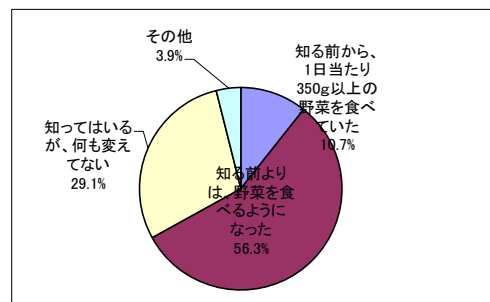


(参考) 前回調査(昨年)

選択肢	回答数	割合
知っていた	125	67.6%
知らなかった	60	32.4%
計	185	100.0%
無回答	2	-

問22 あなたは、「健康の維持・増進のために1日当たり350g以上の野菜を食べることが推奨されていること」を知ってから、日ごろの食生活を改善されましたか。もっともあてはまるものを12選んでください。(問21で1を選択した方)

選択肢	回答数	割合
知る前から、1日当たり350g以上の野菜を食べていた	11	10.7%
知る前よりは、野菜を食べるようになった	58	56.3%
知ってはいるが、何も変えてない	30	29.1%
その他	4	3.9%
計	103	100.0%
無回答	56	-



(その他)

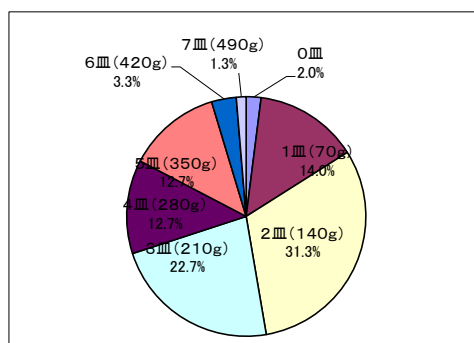
- ・知る前より食べるようにしているが350gはなかなかとれていない。
- ・知る前から野菜を多く食べる様に気をつけていたが、350g以上かどうかはわからない。
- ・家庭菜園で作るようになった
- ・以前から野菜中心の食事を心がけていたが、収入減のため野菜の摂取量は少ない
- ・野菜ジュースで済ます

(参考) 前回調査(昨年)

選択肢	回答数	割合
知る前より、1日当たり350g以上の野菜を食べていた	17	13.3%
知る前よりは、野菜を食べるようになった	62	48.4%
知ってはいるが、何も変えていない	40	31.3%
その他	9	7.0%
計	128	100.0%
無回答	3	-

問23 あなたは、1日平均およそ何gの野菜を摂取していると思いますか。最終ページの1皿当たり70gの野菜を使った料理の例の写真を参考に、毎日およそ何皿の野菜料理を食べていると思いますか。もっともあてはまるものを12選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 0皿	3	2.0%
2 1皿(70g)	21	14.0%
3 2皿(140g)	47	31.3%
4 3皿(210g)	34	22.7%
5 4皿(280g)	19	12.7%
6 5皿(350g)	19	12.7%
7 6皿(420g)	5	3.3%
8 7皿(490g)	2	1.3%
計	150	100.0%
無回答	9	-



(参考) 前回調査(昨年)

選択肢	回答数	割合
0皿(0g)	6	3.3%
1皿(70g)	37	20.1%
2皿(140g)	48	26.1%
3皿(210g)	37	20.1%
4皿(280g)	14	7.6%
5皿(350g)	32	17.4%
6皿(420g)	7	3.8%
7皿(490g)以上	3	1.6%
計	184	100.0%
無回答	4	-

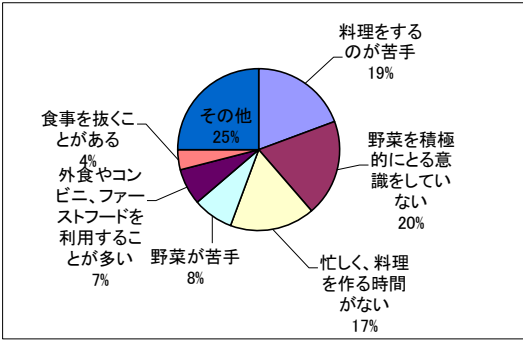
問24 あなたが、1日に必要な野菜(350g)を摂取できない最も大きな理由は何ですか。あてはまるものを1-5を選んでください。(問23で1-5を選択した方)

選択肢	回答数	割合
料理をするのが苦手	24	31.6%
野菜を積極的にとる意識をしていない	24	31.6%
忙しく、料理を作る時間がない	21	27.6%
野菜が苦手	10	13.2%
外食やコンビニ、ファーストフードを利用することが多い	9	11.8%
食事を抜くことがある	5	6.6%
その他	31	40.8%
計	76	100.0%
無回答	38	-

※複数回答する人がいたため、回答数が回答者数を越えている

(その他)

- ・作ることの大変さと後片付けが面倒、時間がかかる。
- ・野菜の量は足りていると思うが、種類が偏り少ない
- ・とっているつもりだった。
- ・価格が高い
- ・1日では考えず、一週間で考えてバランス良くとる。
- ・野菜が高い
- ・子どもがおり、ついつい子どもの好きな野菜中心になってしまう…
- ・年齢的なものか食べる量が少なくなっている(若いときに比べて)
- ・料理がかたよってしまっていてあきる
- ・野菜が高いから。値段に影響する。
- ・野菜の種類は多いが、量的にそれ程多くないので
- ・レパートリーが少ない
- ・毎日野菜はとってます。
- ・野菜が高いと手がでない。
- ・量がよくわからない
- ・苦手とかではなく、それが普通だからです。野菜は高いことも要因ではあります。
- ・炭水化物を多く摂取している
- ・野菜を使った料理のレパートリーが少なく、また簡単においしく食べる方法があまり分からない。
- ・メニューを考えた時に、490g以上の日もあれば140gの日もある。平均するとこんなくらいかなと思う。
- ・年金生活者なので高い時は買わずたくさん出まわるとき食しています。自宅でも作ったりして(ピーマン、ゴーヤ等々)自分達で努力はしています。
- ・野菜料理が食事に出来なない為
- ・女房が作ってくれた食べ物を食べる為(但しサプリで補っている)
- ・もともと食事量が少ない
- ・冷凍宅配食を利用している(屋食のみ)。
- ・コンスタントに量的にムリだと思っている
- ・食が細い
- ・家計
- ・350gは量が多いので面倒になる
- ・野菜が高騰して買えない
- ・野菜摂取を意識しているが、皿に当てはめると十分に取れていなかったことに自分でも驚いた
- ・自分で野菜を作って食しているが、そんなに多くは食べられない。



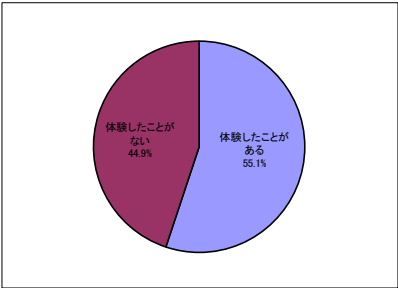
(参考) 前回調査(昨年)

選択肢	回答数	割合
忙しく、料理を作る時間がない	53	25.7%
野菜を積極的にとる意識をしていない	41	19.9%
料理をするのが苦手	32	15.5%
食事を抜くことがある	15	7.3%
野菜が苦手	14	6.8%
外食やコンビニ、ファーストフードを利用することが多い	10	4.9%
その他	41	19.9%
計	206	100.0%
無回答	5	-

5. 宮崎市の農林水産業や農林水産物を県内外にアピールするために必要な取組について、お伺いします

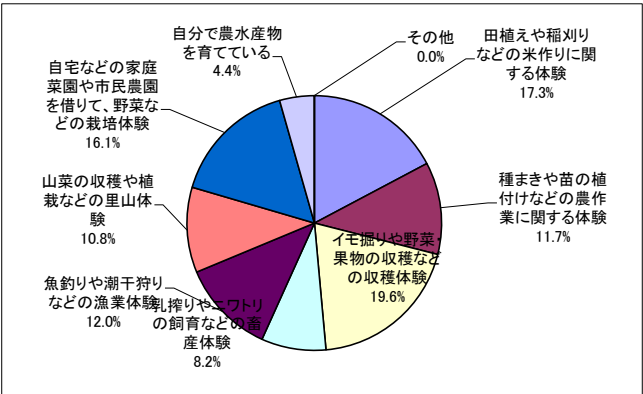
問25 あなたは、農林漁業体験をしたことがありますか。あてはまるものを1-2を選んでください。

選択肢	回答数	割合
体験したことがある	86	55.1%
体験したことがない	70	44.9%
計	156	100.0%
無回答	3	-



問26 あなたが経験した農林漁業体験は、どのような体験でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数	割合
田植えや稲刈りなどの米作りに関する体験	59	17.3%
種まきや苗の植付けなどの農作業に関する体験	40	11.7%
イモ掘りや野菜・果物の収穫などの収穫体験	67	19.6%
乳搾りやニワトリの飼育などの畜産体験	28	8.2%
魚釣りや潮干狩りなどの漁業体験	41	12.0%
山菜の収穫や植栽などの里山体験	37	10.8%
自宅などの家庭菜園や市民農園を借りて、野菜などの栽培体験	55	16.1%
自分で農水産物を育てている	15	4.4%
その他	0	0.0%
計	342	100.0%
無回答	73	-



6. 最後に、お伺いします

問27 宮崎市の食育や・地産地消について、行政(宮崎市)に期待することがありましたら、ご意見をお聞かせください。

〔主な意見〕 (回答者数：102人)

【地産地消】

スーパーなどにもっと地産地消のものを置いてほしい。簡単レシピなどあるといい。

学校給食なども地産地消を頑張ってくれているので、これも行政のおかげだと思っています。スーパーで買い物する時”宮崎産”だと本当に安心です。

地産地消はとても良いことだと思います。これが進むと、助成金etcで購入者、購入量がふえる。働き手もふえ、人口もふえていく。

地産地消と健康とを結びつけて考えれば、野菜などの消費があがって自然と地産地消になると思います。

地産地消の品をもっと手に入れやすくしてほしい(価格、場所etc)

店頭には一番目立ったところに県産物をおいて、輸入物は受け入れないでほしい。県産物がやはり一番先に目につきます。県産は県内で販売して欲しい。地産地消が希望です。

地元の人間においしい野菜を提供していただきたい。地元のスーパーには新鮮な本当に美味しい野菜はあまり並んでいない。

推進してほしい。

【食育】

せっかく農林漁業が身近にあるので地域や学校ともっと関わってもらい、子どもたちも知りたいと思う。(体験教室や生産者の方の話など)

地産地消をもっと広めて色々な料理の仕方の指導、作って食べるイベントなど楽しい食育があるといいなあと思います。たとえば私は宮崎ですが小林では冷汁は食べなかったので作り方は知りませんでした。

幼稚園(清武幼稚園)で子供が自分のはちで野菜を育てていて収穫するのを楽しみにしていて、ちょっと苦手だったトマトももりもり食べています。体験って大切だなあと思います。学生時代になぜか農業大学でとうもろこしを収穫して食べたのは、おいしかったのはとてもおぼえています。共働きで忙しい人も多いので、幼稚園、保育園、学校で農業、食育にふれる機会があるとうれしいです。

大変な時代だとは思いますが野菜、肉、宮崎は産地なのに利用していないのは、家庭や食生活にあるのではと思います。子供達、家族と食べる時間を持ち、楽しめると少しは良くなると思います。出来たら、地元でもっと安価に手に入り利用出来るとありがたいです。

市役所一斉に弁当の日などに取り組んでどうか。

市報等で食育やとるべき野菜などの特集をして欲しい。今回のアンケートで非常に関心がもてた。

(肉毎日50g、魚一切れ、水2ℓ、大豆製品40g、牛乳300cc、野菜350g、果物200g、いも類100g)国民一人当りの食物の摂取量として国の基準がありますが、これを全て実行するのは経済的、精神的難しい。

【体験】

身近に料理の作り方等を作り食するを増してほしい。

今の子供はあまりにも食が満たされ過ぎていると思う。幼少の頃から体験させる事が肝要と思います。学校近くの放棄地を借りて種蒔、草取、施肥等を若い父母共々にさせて実りの収穫をさせてやれば野菜果物の消費、地産地消も進むのではないかと考えます。

親子料理教室等を増やしてほしい。時短でおいしく地元野菜を使ったメニュー(レシピ)の公開。

子どもと一緒に参加できるイベント(収かくや田植え等)をもっと発信してほしい。

子供たちに農林業体験を体験させた方がよいと思う。

子供と一緒に参加できる料理教室をやってほしい!!

【生産】

農業の活性化。

綾町のように農業がない(少ない)有機作物だと良いが…。近所の農家さんがたくさん農業をまいている姿をみると宮崎の農産物もちょっと不安です。

農業法人活性化のための助成制度の確立を期待します。

【販売】

生産者が市役所裏の河川敷を利用して生産物を持ち寄り直接販売する市場を根付かせる。合わせて農産物を活用した料理も現場で作り紹介するイベントを定着させる。

価格が高いので、規格外の物を安くで販売して欲しい。価格調整で出来すぎた物を廃棄せず安価で販売して欲しい。楠並木朝市のような市を頻繁に行って欲しい。

料理した野菜が安く買える方法がほしい。

地産地消に向けて宮崎市民が購入しやすいようにしてほしいと願っている。

曲がったキュウリ、少し色落ちしたくだもの、一皮むけば…ではないけど、もったいないから350gに向けてディスカウントで提供できるよう文化、習慣を作っていくようキャンペーン指導してほしい。

スーパーや飲食店などにも少しのスペースに買えるコーナーなどがあると手にとりやすいのでは。道の駅などなかなか行かない人もいるのでスーパー飲食店をもっと活用してコーナーを増やして行けばいいと思う。

地元のスーパーに宮崎産をたくさん置いてほしいです。初かつおフェアのような地元産の物を買った人が応募できる懸賞があると買う楽しみも増えると思います。

キャビア、マンゴーにしても庶民(低所得)には手が届かないものが多いため都会でうまく宣伝して売ってほしい。野菜の直売所はけっこうあると思うがビニールハウスみたいな店なため入りにくい。おすずの直売所みたいに開店前にならぶような店舗でんかいにしていけば。

スーパー等でまとめ買いすることが多いが県産の物が少ない気がする。また県内産なのに割高なのが納得いかない。輸送費もそんなにかからないはずなのに…。マルシェなどの機会や場所が増えると楽しいと思う。

綾には直売所が良い場所にあり、人が沢山集まっています。野菜も安い。宮崎は直売所をよく見かけますが、少し大きな店舗で品ぞろえも良く場所もよい所にできると、人も集まり良いと思う。

宮崎市産の食材を各地区で販売したら良いのでは？

農林水産物をブランド化することで、多くの収益をあげることは良いことだとは思いますが、地元で居ながらマンゴーやメロン、うなぎ等を気軽に購入できないのは残念です。贈答用と家庭消費用とを分けて生産しなければ地産地消につなげられないのではと思います。

もっと市民の口に入りやすい環境づくりが必要ではないでしょうか。形が悪くても味は良いものがたくさんあります。

県外でも新鮮で価格が安ければ地産地消にはこだわらない。宮崎県の農業についても宮崎の農業発展や経済拡大のために他県に出荷できるならば地産地消にこだわる必要はない。外国との貿易と同じ地域に限定していたら経済発展の真逆になり他県でも同じ方策をとり地域の経済の限定化や縮小化でマイナスになってしまう。バランスを取って取引が必要かと思う。

【給食】

給食とのタイアップ

学校給食で宮崎市の地産地消をすすめる。農家の方に学校にきてもらい、いっしょに給食(その農家で作った作物を利用)をたべる。

学校の給食でも積極的に地産地消の物を使ってほしいと思います。子供の頃から食に対して興味を持ってくれればと思います。

学校や保育園の給食で市の農産物が安価で安定的な利用ができるように方策を立てて下さい。

宮崎は他県に比べておいしい野菜や果物が安く手に入る環境にあると思います。家庭菜園で野菜などを作っている方も多く、いろんな方から野菜や果物をいただくことが本当に多いです。子供たちが積極的に野菜を採るためにも、給食などで地産地消を促進していければと思います。

【PR】

宮崎市の野菜、水産品などの価格が手頃であると、また新鮮だと手にとりやすいです。またSNS等でTVでラジオで、郷土本(単行本)でも、料理本でもおいしい食材を使ったレシピ(栄養素や効用とかも書いた)発信してみても？無料よりしっかり本にするとか。反対にいつでも見れるSNSを出すとか、特化したらよいと思います。

品質の良さが評判で主に県外都市部で消費される品物も多く価格を少し安目にして県内で広く消費してもらう運動売込みをしてもらいたい。

宮崎のおいしい食材、料理をたくさん紹介してほしいし、レシピも紹介してほしい。

宮崎の農産物や果物はおいしい物ばかりなので県外の皆様にもPRして宮崎県の名前を売りたいものですね。

もう少しメディア(ラジオ、TV、新聞)を活用して市民に興味を持たせる。簡易なストーリーを映像にして流す等。

学校給食でも宮崎市の食物を消費されていることと思いますが、その状況を市の広報誌を通して広く市民に告知していただき家庭で夕飯献立の材料を思料する際の一助となれば地産地消の増加へとつながるのではないのでしょうか。

農産物はどれもおいしく、種類も多いのももっと全国にアピールしてほしいです。

地産地消をわかりやすくする為に宮崎県産品を取り扱っている店(スーパー)や食事をする所(レストラン等)に地産地消の”のぼりばた”があると、外からわかりやすく、店にも入りやすいので、どうだろうか？取り扱っている店が少ないのかな…。

昔から宮崎の野菜と言うとピーマン、キュウリが主にPRしていたが今はあまり知る人がいない。もっと身近なものとして積極的にお店等で県産品を使用するよう働きかけるべきだ。

食にこだわりを持って取り組んでいる飲食店が多数あると思います。もっと広報や新聞、メディアなどで取り上げて市民の皆さんに知ってもらうべきだと思います。隠れ店などがありますよ。

イベントなどを通じて、食を知る機会を増やして欲しいです。先日牛乳のイベントがイオンモール宮崎でありましたが、人が多く入るのをあきらめました。広い広場でやって欲しいです。

みやざき広報の「旬食みやざききっちん」のように宮崎市産をPRし生産者・生産地も紹介してほしい。ガンバル生産者

県外に出られた方にアンケートを配布し、宮崎での思い出の料理、食材おふくろの味を思い出して頂き、出来ればテレビにて放映してほしい。最近「宮崎を食べよう」の番組が編成替えになったのが寂しい。夏の冷汁、冬のだご汁が各家庭と地域によって味が違うと思われるので(例えば延岡と都城では違う)

宮崎の食材の組み合わせの料理等をTVで紹介してほしい。

手軽に家庭で作ることのできる農作物を紹介してもらいたい。

特産品を使ったメニューでかんたんでおいしく出来るものをいろんな場面で紹介してほしい。

もっと宮崎のピーアールお願いします。

都会に比べて確実に食に関しては勝っていると思いますので、このまま積極的にアピールを続けていけば良いと思います。宮崎の食は超自慢ですから!!

イベントや祭りでお店を出店してPRしてほしい。

もっとアピールして下さい。

PRにもっともっと力を入れていただきたい。

せっかく美味しい食べ物がたくさんあるのに、住民にそういう意識がない。また、加えてつくる側、売る側もアピールが下手だと思う。

宮崎でとれる食材を使ったレシピを紹介してもらいたい。また、イベントなどで積極的に宮崎の食材をアピールすればよいのでは

【安心・安全】

地産地消にいつも心がけて買物しています。これからも安心・安全な宮崎の食をよろしく願います。

農家等(とくに法人)の生産者に安心安全に気を配ってほしい。利益を優先して供給しないでほしい。消費者もやはり県産品等にほこりを持つ教育をしたらどうでしょう。

野菜は比較的食べてると思いますが、農薬が多く使われた野菜は体に有害なので沢山は食べません。最近では自分の菜園で育てた安全な野菜を食べるように心がけており、ほとんど野菜類は購入しなくなりました。綾町のほんものセンターで買い求めることが多い。

遺伝子組み換え食品の危険性についてのJAの啓発広告を新聞で見ました。国産の野菜や魚を安心して食べることができるのは有り難いことだと思っています。組み換え食品の規制にも力を入れていただきたいと思います。

食の安全に対して、有機栽培などについてとても興味関心があります。宮崎では手に入らない農作物などは、ネットで購入などをしています。もっと宮崎でも有機栽培などの農家さんが増えると良いと思います。有機栽培となると、農家の手間や費用などがかかるとは思うのですが、食の安全に対して健康志向を持っている人にとってはとても関心があるので、全国でもニーズは多いと思います。

【ブランド化】

綾が「有機農業の町」として一定の基準を設け農業に取り組んでいるように、県、市としても宮崎の野菜に付加価値をつけることはできないでしょうか。綾の本物センターは土日はもちろん平日も市内から野菜を求めて賑わっています。安心して食べられる上に味もとてもよいです。また、私はよく西池のまつの(スーパー)に行くのですが、宮崎元氣市として生産者が持って来られた野菜が置いてあります。どういう作り方をしたのか貼ってあってあり、生産者の顔が見えるのです。輸入より国産を選ぶのは安心できるからだと思います。宮崎の野菜は『安心して食べられる』そして『おいしい』というイメージ作りをお願いします。

ブランド化させるのもいいけど安価で手に入るおいしい食物の拡大に努めて頂きたい。ブランド化させると値がはねあがるため。

都会に出荷して豊かになってもらい、地元は安く提供してほしい。その事でブランドを求めて他県からも人を呼べると思います。

【価格】

マンゴーや宮崎牛ばかりがマスコミなどに流れているがもっと日向夏を広めるべきだと思う。しかし関東では出回っていないのが現状で、あったとしてもすごく高い。もっと価格を安くして広める様にしたい方がよい。ハンパなく高かったです。宮崎牛やマンゴーもおいしいのですがやはり高いのでめったに食べることはありません。

県外の友人達が宮崎の野菜はコンビニのバックでも美味しいと言います。もっと自信を持って豊かな生活が農家の人達が送れば後継者問題も解決できる様に高くして市場に農産物が出回る様に努力して欲しい。

地産地消できるよう、価格を安くして欲しいです。

宮崎県の食材がメジャーになると県民が購入するときに割高になる傾向があるので(マンゴー)など手が届く範囲での金額設定にしていきたいです。

マンゴーやライチなどはコストがかかっているのはわかれますが、もっと安くで購入出来る様に補助してほしい。

家族全員宮崎マンゴーが大好きなのですが、地産地消したくても高すぎるので、ほとんど手が出ません。県民がもっと割安な価格で購入できることを切に願います。

野菜の産地なので、できるだけ安くで購入できるように配慮してほしい。

問19で県外出荷が多いとの事でしたが、県内でも流通しやすいような価格設定(宮崎は全国よりも所得も低いです)を考慮してみてもどうでしょうか。県外の方が儲かるので出荷も伸びるのではないかと考えられますが。

【食品加工】

加工品の開発などで安定した収入を農家を得ることができれば、移住者も増えると思う。

野菜やくだものも季節関係なく豊富にあります。野菜摂取の統計を読んでちょっとショックです。宮崎の野菜は新鮮でおいしいと自慢して良いのでは。野菜料理に関心がないのかも。料理の仕方が悪いのかも。なんでもかんでも甘い味付けでは野菜の良さをなくしてしまっているのではないのでしょうか…私には分かりません。

宮崎市はおいしい食べ物がたくさんあります。旬のものを食べるのは、もちろん美味しいですが、加工してより商品価値を高める事も大事だと思います。

【教育】

子ども達に学校や幼稚園等で食育だけでなく、健康教育をどんどんすすめてほしいです。

小学生から「食育」の勉強したらいいと思います。保護者も一緒に…。

小学生の給食から食育に力を入れ、メニューなども意識していると思うので、今の若い子達からはかなり食育・地産地消には力を入れていると思う。若い主婦の方で魚料理の苦手な人が多い為、子供に魚料理を作る人が少ないと思います。子供の学校教育の中でももう少し魚料理をとり入れた授業を増やし偏見を除去することも大事ではないでしょうか？

地産地消について小さい頃から身近に考えられるように義務教育にどんどん取り入れてほしい！

【その他】

行政に何も期待できない

宮崎の食、食育、地産地消について行政の方より情報を流してください。現在私の情報源はJAのアグリッシュ、Fスーパーの食についての勉強会(年に3、4回)糖尿病関係のイベント(ウォーキング、講演会、映画、糖尿病の特別イベント)。キネマ館の遺伝子組換え農産物(特に種子関係)に関する映画、食に関する映画、辰巳芳子さんの命のスープとかNHKの食育番組などです。もっと市民の多くが目にする広報で、固定された特別コーナーで(簡単レシピなどをやさしく示して)情報を流してください。(写真やイラスト、動画etc)。塩分、糖分、メタボ、高血圧、糖尿、ホルモンetc。Topicsはいっぱいあると思います。くり返しくり返し大きな〇〇分り易く伝えてください。

家庭菜園や市民農園、地域(団地や自治会組織)農園等の推奨する生ゴミ製造の容器を補助しておられるので、その延長線上で生ゴミ製造方法、栽培の指導等をするといい。

もっと道の駅を作ってもらいたい。又品かずもたくさんおいてもらいたい。

行政を頼るのはいいですが、民間がある程度がんばらないといけなと思う。市民の方からいろんなアイデアを出しそれをうけて行政がよいと思ったものを一緒にやっていったらよい。

イベント等を積極的に企画して欲しい。

食の事だけでなくトータル的に全体的に知識レベルの向上が急がれる。

宮崎出身ではないので宮崎にきて野菜のおいしさと安さにおどろきました。こんなに野菜がとれるのに県民の野菜摂取率が低くてまたおどろきも県内でたべてほしいです。

大分からこちらに嫁いで来て10年になります。野菜も肉も豊富にある自然環境も素晴らしい、言う事なしです。なぜ野菜の摂取量が少ないか？少ないのではなくそれが普通もしくはおいしい肉や魚や鶏でお腹がいっぱいになるんですよ!!多い県というのはその部分が宮崎とは違うんじゃないかと感じてます。

生協とか大手のスーパー、地域の生鮮食料品販売店など規模の大小に拘わらず、すべての販売店で『食育』ポイントとか『地産地消』ポイントを店舗の保有する顧客カードに加算していくシステムを導入して、行政の給付金など財政的な支援をするような工夫もあってよいのではないかと思います。生協などでは、レジ袋不要の人にポイントを加算するなど、プラゴミ削減・エコの活動に参加・協力しているのを先例とすれば良いと思うのですが、……？

宮崎市だけでなく宮崎県全体で取り組んでいく問題だけれど、宮崎市だけに関して言えば、もっと積極的に行動するべきだと思います。宮崎市が中心となって宮崎県を盛り立てて行かなくてはならないはずだけれど、都城市小林市綾町西米良村など他の地域がどんどん目立って宮崎市は地産地消どころか宮崎市産宮崎市消が出来ていないと思います。もっと小売店や地元スーパーと協力して活気あふれる町にするべきだと思います。子は地域の宝、食べることは生きることにつながります。本当の意味での食育を本気で取り組んで下さい。

近年、朝食を取らない子供が多くて驚いています。話を聞くと、親が朝食を作らない(親自身が朝食を取らない)ことが理由の一つであると感じます。共働きになったことで朝食を作る立場である母親の朝が忙しく、朝食を作れないという声もよく聞きます。ただ単純に朝食の必要性を述べるだけではなく、社会の変化に伴う家庭環境についても目を向けるべきではないかと周囲の話を聞くと実感します。例えば、希望者には別途費用を回収し、小学校で朝軽食を渡すなど、もう少し柔軟に対応してもいいのではないかと思います。また、外食文化が進むにつれてチェーン店等で宮崎産以外の食材も気軽に食べることが出来ます。海外によくある朝市・夜市のように屋台等で気軽に宮崎産の食材を使った料理を食べる文化等が生まれると、もっと市民が地産地消を意識するようになるのではないかと考えています。